

「武尊君」支援、ベトナム・バンドン小学校開校式の挙行



キックボクシングの世川武尊選手の支援で、昨年1月16日に着工式を実施し、ベトナム北部、トゥエンクアン省、ラム・ビン郡、ミン・クアン村に建設中であったバンドン小学校が、昨年秋の長雨の影響で完成が遅れていましたが、4月19日、武尊選手を案内して、250人の子どもたち、本校からも駆けつけた40人の先生方、そして、来賓や村人50人ほどで、立派な「開校式」を実施することができました。各教室の天井には4台の天井扇まで付いた2階建て6教室の校舎は、それぞれの階にトイレもあり、本当に広く・大きく、立派でした。敷地の反対側には、こちら武尊君支援の200㎡の広さのドーム型の屋根の付いた遊び場が建設され、近隣の小学校などには無い、素晴らしい教育環境となっていました。

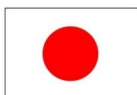
開校式は、武尊君からの「できる限り、子どもたちにとって思い出となる開校式に」という願いと要望で、来賓の挨拶などを極力少なくし、暑さを避けるために、早朝7時半から開始し、式典は30分以内に終わらせ、そのあと、武尊君のミット打ちの披露や「バッグジャンピング、二人三脚、棒運び、しっぽ取り、綱引き」など、子どもたちにとっては初めての、思い出に残る日本式のミニ運動会を開催できました。

暑くなり始める10時30分には、ドーム型屋根の下にテーブルと椅子とともに、学校で給食のない現地の子供たちにとっては、初めての全校生での昼食も用意され、友達みんなで食べる多くのご馳走を、満面の笑顔で、美味しそうに食べていました。その席を武尊君が回り、一人一人に、ターゲットマスクのシールも配っていただきました。武尊君からは、「夢をもつ」ことの大切さが、子どもたちへ伝えられました。

最後に、武尊君の姿の写真を入れ開校式記念として作られたマグカップやお菓子が、参加者全員一人一人に武尊君からプレゼントされ、子どもたちだけでなく、先生方までが、武尊君にマグカップにサインをもらう姿が印象的でした。数人の子どもたちにインタビューすると、「温かく涼しい新しい立派な校舎で、70人以上増えた友達と過ごせることがとても嬉しい。」「武尊君は、強いだけでなく、本当に優しく、かっこいい。」と、感想を述べていました。この開校式は、子どもたちの生涯の思い出となることでしょう。

BAN DON PRIMARY SCHOOL

Lam Binh District, Tuyen Quang Province



Donated by the 7th Tiger Mask
Segawa Takeru



*"If you can dream it,
you can do it."*

April, 2025

This school building was donated by Mr. Segawa Takeru
in Suginami-ku, Tokyo of Japan with Japanese NGO CSR-Square.

Tòa nhà lớp học này được tài trợ bởi ông Segawa Takeru đến từ Suginami-ku, Tokyo,
Nhật Bản thông qua Tổ chức phi chính phủ CSR-Square, Nhật Bản tài trợ. 04/2025



「CSR²」という名前に込めた願いと ドネーションツアーでの出会い



昨年の「TED×スピーカー」で
考え方を発信する佐治さん

認定NPO法人シーエスアールスクエア(CSR²)という団体名は、「Corporate Social Responsibility」(企業の社会的責任)という意味と、「Challenge for School Revival」(学校を生き生きとするための挑戦)の二つの願いを込め「CSR」が二つなので、右上の「2」で、スクエア(2乗と広場の意味)としました。

これは、企業の社会貢献のお金をお預かりし、日本だけでなく世界中の学校を生き生きとするための活動を、団体のミッションとしたかったからです。

しかし、いくつかの会社のCSR部門の係の方を訪問し話しても、「その支援は、当社にとってどんなメリットがあるのですか?」と聞かれてしまうことが多かったのです。

そうした中、今年4月に、一昨年、ベトナム中部の都市、ダナン市の山奥の幼稚園に、大型遊具を寄贈して下さった、名古屋在住の経営コンサルタント会社「(株)サンアスト」の「佐治邦彦さん」と出会いました。佐治さんが声をかけて下さった大阪・三重・名古屋・静岡・山梨・神奈川・千葉・富山・東京などから集まった社長様方を案内し、ダナン市の幼稚園と、水の浄化装置を10の村々に取り付けてきたクアン・ナム省、タイ・ヤン郡の小中学校を訪問し、交流する、いわゆる「ドネーションツアー」のためでした。しかし、そのバスの中での道すがら、佐治さんと話しているとスモールグッドカンパニーを育成し、日本を元気にするという「ミッション経営」という取り組みを知ります。

会社紹介のパンフレットには「現在多くの企業は、企業規模を拡大することや維持することにとらわれ、その結果として多くの問題が発生していると考えます。規模を追い求めるのではなく、社会の問題に目を向ける事でどんな時代でもビジネスのチャンスが見えてきます。私たちは激動の時代でも「自信」と「希望」を持った経営者を増やし、次世代の子供たちに希望の持てる社会を作ることを目指しています。」と、あります。(https://www.sunast.co.jp/mission/を参照)

これが、まさに、CSR²が目指していることだったのです。

その訪問先の山奥で、15年前建設の10室のシャワールームが、すべてが壊れて使えず、10℃を下回る寒さの中でも、子どもたちは、寮から一枚の布を羽織り、水道の蛇口から手桶で水を汲み、冷水で髪を洗い、身体を洗っている中学校を視察します。訪問最後の夕食の場で、佐治さんは、「皆さん、私たちで、あのシャワールームを直してあげませんか。」と提案して下さったのです。現地の教育訓練局に連絡して、電気温水器も取り付け、目標金額は120万円と決まりました。最初の支援金が振り込まれたのは、5月1日、そして、20日ほどで、目標金額が集まってしまったのです。CSRスクエアの考え方を裏付けていただきました。佐治さんとの出会い、そして、支援いただいた社長様方に感謝です。



発刊されたばかりの著書



現地の子どもたちと佐治さん



シャワーヘッドも止水バルブも無く、建物だけのシャワールーム



冷水で髪を洗う様子を示す校長 Tamさん

ある財団の支援金とCSR2の予算で、3園の園舎修理



Ban Ke幼稚園の教室の柱



Phai Tre幼稚園のトイレのドア



Na Ta幼稚園の窓

年に数回通い続けているベトナム北部、Tuyen Quang省、Lam Binh郡。中心地のLang Can村には、5つの分園をもつLang Can幼稚園があります。その分園の園舎は、どれ一つを見ても、すぐにも改修が必要な園舎でした。5つの幼稚園の改修提案書を書き、日本寄附財団に送りましたが、全体の予算などの関係から、2園の支援だけの採択でした。

Lang Can幼稚園のBan Ke幼稚園は、シロアリカラワン虫の被害にあった柱を全部外し、代わりに金属製の柱とドア・窓にすべてを交換しました。Phai Tre幼稚園は、修理できる範囲を超えていることや、すぐ近くに、昔、Phai Tre小学校の1・2年生の分校として使われていた校舎があり、校舎前には、広い遊び場もあるため、裏側に、昼寝用の簡易ベッドなどを収納する倉庫を増築し、敷地の周りに、フェンスを張り、新しい園舎となりました。もう一つの園舎は、Thuong Lam村の最も奥地に有り、細く曲がりくねり急勾配の道を30分ほど車で走った場所にあるNa Ta幼稚園でした。窓枠や柱のほとん



柱とドアの交換



Phai Tre幼稚園の新しい園舎



改修した教室の窓

んど腐食して曲がり、窓も壊れて閉まらず、真冬の寒さでも、教室の中を風が吹きすさんでおりました。この幼稚園は、現地の教育訓練局から、どうしても修理してほしい幼稚園の一つと言われておりました。そこで、この幼稚園だけは、日本寄附財団からの支援金とは別に、CSR2の会員の皆さまなどからお預かりした会費などから工面し、修理を実施しました。

園舎の修理とは別に、今年の3月に訪問したThuong Lam幼稚園の本園では、200人ほどの園児が生活しておりますが、園庭で使うスピーカーが無いと、先生方がとても苦労しておりました。CSR2の会員の一人である高齢の女性からお預かりさせていただいた支援金で、50ワットの移動式・蓄電式の大型スピーカーセットを購入してプレゼントさせていただくことができました。感謝しております。

鎌倉学園の中学校3年生の訪問を、2つの班に！

神奈川県鎌倉学園のスタディツアーは、今年で10回目となりますが、その9回を案内させていただいてきました。ベトナム南部・中部、そして、最近はずっと、北部のTuyen Quang省、Lam Binh郡の訪問と交流を続けてきています。昨年は、51人の中学校3年生が参加してくれて、大変な賑やかさでしたが、宿の収容人数などの関係から、2～3の「ホームステイ」と呼ばれる宿泊施設に分宿せざるを得ませんでした。また、食事も、現地の交流する生徒達と先生方をいれると、100人を超えてしまい、その食事のできるレストランを探すのは、たいへんでした。

そこで、今年の3月の訪問は、53人の参加者生徒が、



2つの班に分かれていただき、一人の引率の先生や理事長宍戸は、これまでの倍の日数の帯同とはなりましたが、充実した内容で実施できました。しかし、それぞれ2日間の現地中学校との交流ですから、一つの中学校だけでは、負担が大きすぎますので、それぞれ、別の中学校との交流を計画しました。1班は、これまでもお世話になっているLang Can中学校、2班は、数年前に一度交流させていただいたThuong Lam中高一貫校となりました。それぞれの学校への訪問記念品も準備され、それぞれパートナーとなる生徒同士もお土産も交換し、充実し思い出に残るスタディツアーとなりました。



活動報告会や理事長講演会を東京で。

昨年度の会員と寄付者などの方々的人数は、合計185人となりました。その多くは、関東圏の方々です。そこで、今年2月1日に、東京都千代田区飯田橋の近くの会議室を借りて、「CSRスクエア活動報告会」として、ベトナムだけでなくラオスでの活動なども報告する集まりを計画してみました。すると、予定した40席がすぐに満席となり、最後は、参加を控えていただく方も出てきました。

理事長宍戸の講演会も、大人対象のバージョンもあり、千葉県柏のシルバー大学院などでは、人気です。



認定NPO法人シーエスアールスクエア 宍戸理事長による講演会

テーマ：「東南アジア山岳少数民族の
子どもたちの瞳の輝きに魅せられて」

日時：2025年6月29日(日)
14:00～16:45 (13:30受付開始)
※ 途中からの参加も大歓迎
場所：東京都千代田区富士見1-6-7
「千代田区富士見出張所・富士見区民館」
参加費：500円(会場費)
申込み：右のQRコードから、お申込みください。



※ 講演会後に、会場近くで懇親会を予定していますので、奮ってご参加ください。



そこで、6月29日(日)の午後は、関東圏(千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県など)の会員や支援者の方々を対象に、理事長講演会を計画してみました。講演終了後には、会員・支援者の懇親会も計画されていますので、友人・知人などもお誘いいただき、多くの皆さま方に、「東南アジア山岳少数民族の子供たちの瞳の輝きのわけ」を味わっていただければ幸いです。申込みは、左のQRコードから、多くの方々の参加をお待ちしております。

ホップタイン小学校のトイレ建設の遅延について

昨年、皆さまにご提案させていただき、多くの協賛とご支援をいただいておりますTuyen Quang省、Yen Son郡、Luc Hanh村のHop Thanh小学校のトイレ建設ですが、省からの建設許可を待っているのですが、遅れております。まだ、着工できない状態が続いています。

ベトナムは、現在、数十年に一度という行政改革の真っ最中です。これまで、19あった省庁を14に減らし、また、省(市)・郡・町村という行政区分を、「郡レベル」を無くし、「省(市)・町村」にするという大規模な改革です。公務員の人数を10万人減らそうとする取り組みでもあります。8月末までには終わらせるという方針ですが、様々なことが、遅れるのは、ホーチミン市の地下鉄だけではないと考えられます。

右の写真のように、今年の3月21日も現地を訪問し確認は取れておりますので、ひたすら省からの建設許可を待つ以外に方法は無さそうです。

東京都の町田市立南大谷小学校では、6年生が中心となり、学校の敷地にあるイチヨウの木から落ちた「銀杏(ギンナン)の実」を拾い集め、果肉を綺麗に取り去り、最後は、洗濯機で洗うなどし、そのあと乾燥させて袋詰めをして、PTAのバザーや、学習発表会の日に、地域の方々や保護者に販売するなどの取り組みをして、16万円もの収益金をホップタイン小学校トイレ建設支援金として寄せてくれました。

そこで、南大谷小学校の卒業式の日、3月21日、式の終了後、下校までの数分間をいただき、現地とオンラインで結び、支援の報告をさせていただきました。現地の子どもたちからの「アリガトウ、ミナミオオヤ」の声が、しっかりと届いておりました。

2月にも、同様の取り組みを計画し、そのときは、東京都中野区の富士高等学校附属中学校と板橋区立志村第2中学校とのオンライン交流を予定していたのですが、以前の訪問と違い、16人乗りのバンで向かったため、道路が細すぎて、結果的に学校まで到着できず、現地から校長先生の案内での動画送信と感謝の言葉だけとなりました。しかし、自分たちが頑張った支援が、どこに、どのような形で届いたのかを知り、それぞれの中学校の生徒達は、成就感・達成感を持っていただけたようでした。



2024年度 出前授業・講演会の実績 (海外で5回の講演会)

No.	月日	曜	時刻	学校名・団体名	学年	生徒数	教科等	参観者
1	4月13日	土	6:00	福島県郡山市、安積野倫理法人会			講演会	42
2	4月22日	月	13:00	千葉県、柏シルバー大学院			講演会	120
3	5月11日	土	10:20	福島県郡山市、夢成株式会社			講演会	67
4	5月29日	水	11:15	福島県、福島市立福島第三小学校	小3・4	128	講演会	7
5	5月30日	木	9:20	福島県、福島市立福島第三小学校	小6	50	講演会	5
6	5月30日	木	10:20	福島県、福島市立福島第三小学校	小5	56	講演会	6
7	6月11日	火	10:00	Vietnam Ha Noi、なかよし幼稚園			講演会	30
8	6月13日	木	13:00	Vietnam Ha Noi、GLC日本語学校			講演会	150
9	7月3日	水	10:30	福島県、国見町立国見小学校	小6	55	講演会	10
10	7月4日	木	13:15	千葉県、柏シルバー大学院			講演会	59
11	7月9日	火	13:30	和歌山県、和歌山大学教育学部附属小学校	小3～6	260	講演会	12
12	7月18日	木	10:20	福島県、福島市立北沢又小学校	小6	71	講演会	4
13	7月24日	水	14:00	東京都、港区Direct-Force講演会 (Zoomハイブリッド)			講演会	30
14	8月29日	木	19:00	東京都千代田区、AVENUE講演会 (Zoom)			学習会	6
15	9月3日	火	13:00	千葉県、柏シルバー大学院			講演会	80
16	9月4日	水	10:35	東京都、町田市立南大谷小学校	小6	90	講演会	5
17	9月14日	土	15:30	福島県教育関係神職協議会			講演会	20
18	10月5日	土	9:20	東京都、江戸川区立鹿骨東小学校	小6	85	講演会	10
19	10月5日	土	11:15	東京都、江戸川区立鹿骨東小学校 道徳地区公開講座講演会			講演会	65
20	10月8日	火	16:00	東京都品川区、品川女子学院	中1～高2	40	講演会	5
21	10月25日	金	13:20	福島県、いわき市立小名浜一中学校	中2	195	講演会	8
22	10月28日	月	10:30	福島県、郡山市立金透小学校	小5・6	77	講演会	5
23	10月30日	水	10:00	東京都、江戸川区役所幹部会			講演会	93
24	11月28日	木	13:45	和歌山県、和歌山大学教育学部附属小学校	小4	28	講演会	3
25	11月29日	金	19:00	大阪府、大阪市旭区PTA連絡協議会			講演会	7
26	11月30日	土	14:00	大阪府、Miss Business Global Japan (Zoomハイブリッド)			講演会	280
27	12月1日	日	10:30	福島県、国見町青少年健全育成推進大会			講演会	100
28	12月13日	金	15:40	東京都、江戸川区立鹿骨東小学校学校公開			講演会	176
29	12月18日	水	13:15	東京都、品川区立鈴ヶ森中学校「命の授業」	中1～3	368	講演会	50
30	1月6日	月	6:00	埼玉県八潮市倫理法人会			講演会	37
31	1月31日	金	11:25	東京都、町田市立南大谷小学校	小6	90	講演会	5
32	2月1日	土	9:35	東京都、江戸川区立南小岩第2小学校	小4～6	192	講演会	100
33	2月1日	土	14:15	CSRスクエア、関東圏会員対象活動報告会			報告会	40
34	2月19日	水	13:40	福島県、本宮市立白沢中学校	中2	45	講演会	5
35	3月21日	金	10:00	ベトナム北部、バンドン小学校	小・全	205	講演会	9
36	3月26日	水	9:30	ベトナム北部、ミンクアン中学校	中3	46	講演会	5
37	3月26日	水	14:00	ベトナム北部、フォックソン小学校	小5	75	講演会	8

2156

1664

今年度の講演会の特徴としては、第7・8・35・36・37回のベトナムで5回の講演をさせていただいたことや千葉県柏市のシルバー大学院(第2・10・15回)で、シニアの方々対象に3回講演をお聞きいただいたことですが、それ以外に、第23回の東京都江戸川区では、各課の課長様など、区長様をはじめ、約100人の方々にお聞きいただけたこと(右の写真の会場)は、本当に光栄なことでした。

児童生徒と大人、合計37回で、合わせて3,820人の方々に、拙い話ですが、共感していただけたことに感謝しております。



【ラジオ番組「お母さん教室～話の広場～」】

2月4日・11日・18日、ラジオ福島での放送

今年の2月の3回の放送は、共通テーマは、「CSRスクエア・ユースのボランティア活動と学生さん達の感想」であり、第1回目は、「昨年8月の渡航とボランティア活動、そして、ベトナム人の感想紹介」、第2回目は、「ユースメンバー、2回目の訪問と、ある女子学生の方からのメッセージ」、そして、第3回目は、「2回の出前授業を聞いてくれた小学生の感想と行動の素晴らしさ」と題して話させていただきました。

音源やCDがありますので、ご連絡をいただければ、お送りさせていただきます。



◆正会員◆

群馬県	堀口 成美
埼玉県	金 恩希
同	張 新桂
埼玉県	久光久仁子
千葉県	青柳 至貞
同	石塚 史也
同	池田 浩
同	木村真紀子
同	坂内 美佳
同	鶴巻 美一
同	杉浦 陽子
東京都	小島亜衣子
同	下山 充
同	下山 泰代
同	高見澤浩介
同	山室 卓也
同	李 冬梅
同	Le Van Anh
神奈川県	菅 仁
同	比留川 学
同	宮下 律江
同	吉永 優
富山県	観田 康宏
山梨県	石原 弘基
愛知県	鶴飼 正彦
同	佐治 邦彦
同	佐治 直紀
同	中田 憲明
同	中田 美佳
静岡県	望月 隆弘
三重県	堀 祐輔
京都府	野村 元哉
福島県	根本 敏明

◆賛助会員◆

埼玉県	平敷 尚華
東京都	鈴木 陽菜
大分県	半澤はるの

2024年10月～2025年3月の
正会員、寄付者名（敬称略）

◆寄 付 者◆

北海道	中西 重敏	東京都	長谷川由貴	福島県	国見町立
同	山本 禎	同	花坂 未来	同	国見小学校
山形県	菊池 勇棋	同	Pham Minh Thu	同	齋藤 典子
新潟県	平沼 京子	同	真鍋 秀則	同	佐藤美保子
栃木県	田崎 真	同	町田市立	同	宍戸美紀子
同	柳 文男	同	南大谷小学校	同	宍戸 正幸
茨城県	理崎 比治	同	山室 卓也	同	常 泉 寺
埼玉県	八潮市	同	吉村 康佑	同	高信由美子
同	倫理法人会	同	若松姫恵子	同	日本旅行
千葉県	太田 利彦	神奈川県	大石 孝裕	同	郡山支店
同	齋藤 輝峰	同	園部 和弘	同	根本 敏明
同	滝沢タカ子	同	平井 隆一	同	林 克重
同	中山 弘子	同	比留川 学	同	福田 文子
同	奈良部美紗江	同	松下 伸広	同	本田 辰男
同	藤原 勝子	同	吉野 佑	同	森藤 学
同	光安 輝雄	三重県	久我 公亮	同	吉川 哲也
東京都	山本 恵子	同	村上 晴紀	不明	コント`ウ ヒロシ
同	吾妻 隆一	和歌山県	中谷 栄作		
同	いせひでこ	同	和歌山大学		
同	江戸川区立	同	附属小学校		
同	鹿骨東小学校	同	渡辺 圭		
同	太田 照子	京都府	野村 元哉		
同	大西真由美	大阪府	角谷 智志		
同	小林みゆき	同	松原工務店		
同	小林 暉	兵庫県	谷川 亮		
同	田中 里美	同	長谷川 諒		
同	Danielle	同	妹尾 由香		
同	Flath	島根県	永島 弘明		
同	葛木 淳二	同	内田 安子		
同	都立富士高校	福島県	岡崎 忠昭		
同	附属中学校	同	神岡 祥恵		
同	徳永佐智代	同	柏 正二		
同	日本寄附財団				



バンドン小学校開校式
正面柱に付けた銘板の前で

認定NPO法人 シーエスアールスクエア（CSR²）（輝く学校広場）

Challenge for School Revival & Corporate Social Responsibility

〒960-8136 福島県福島市八島町6-29 TEL 090-2604-4226 FAX 024-533-2612

(ホームページ) <https://csr2.or.jp/>

(facebook) <https://www.facebook.com/Kagayakugakkou>

E-mail: shishido.csr2@gmail.com